

品川区いじめ根絶協議会（第1回）

議事録要旨

1 日時

令和4年7月8日（金）午前10時から午前11時30分まで

2 会場

教育文化会館 第1講習室

3 内容

- (1) 品川区教育委員会教育長挨拶
- (2) 委員紹介
- (3) 報告「品川区いじめ防止対策の取組」「いじめに関する調査結果概要」
協議 テーマ「学校・保護者・地域・関係機関における連携の充実について」
- (4) 品川区教育委員会教育次長挨拶

4 出席者

委員一覧の通り

5 発言要旨

協議 テーマ「学校・保護者・地域・関係機関における連携の充実について」

(1)現状

- ・今年度は移動教室などの行事を実施できている。しかし、給食では「黙食」が求められるなど子どものストレスとなる場面が多々ある。重大事案のいじめ、不登校、虐待、ヤングケアラーの件数が増加している。SNS 上でのいじめなど、相手が分からないいじめが増えている。（教育長）
- ・アイシグナルの利用方法の説明（統括指導主事）

(2)今後に向けて

- ・学校の若手職員にいじめの認識や対応について、十分周知していく必要がある。子どもがいじめで死に至らないように、子どもの居場所、ほっとステーションが必要。（明石委員長）
- ・子どもたちが地域の行事などを体験させていくことは、長期的に様々な価値観を学び社会性を身に付けることにつながるのではないかと。2年間地域の活動に制限がかかっていたので、今後再開していきたい。（グループ1）
- ・SNS によるいじめが増え、犯人が見えにくくなっている現状がある。学校だけで抱えずに、地域も含めた関係機関に可能な範囲でオープンに情報を発信していくことで、当事

者・保護者が周りから協力してもらっているという感覚をもってもらえるのではないか。
校区教育協働委員会も活用していく必要がある。(グループ2)

- いじめに関しては、組織的な対応が必要。警察では、ヤングテレフォンコーナーでいじめの相談がある。人権擁護委員からは学校にてSOS ミニレターの対応、電話相談、SNSの相談の説明をしていただいた。普段から学校と関係機関との関わりを大事にし、学校が地域活動に積極的に関わっていく必要性を感じた。(グループ3)
- コロナによって、人と人の結び付きが閉じられ、親同士や子ども同士が連携しにくくなっている。このことが、様々な人間関係の中で不信感の増大を生んでしまっているように感じられる。人と人が関わり合えるチャンスを増やしていくことが重要ではないか。(グループ4)